



【学校教育目標】「誠」を校訓として、人間性豊かな、たくましい生徒の育成につとめる
～「時を守り」「場を清め」「礼を正す」～

ご卒業おめでとうございます！ 卒業生16人が旅立ちました！



3月7日(木)。春を思わせるような小春日和に、第48回卒業証書授与式を挙行了しました。お越しいただいたご来賓、保護者の皆様、ありがとうございました。卒業式に臨む在校生や卒業生の姿が目には焼き付いています。呼名のときの力強い返事、国歌・「仰げば尊し」「大柿中学校校歌」の響き渡る歌声、思いのこもった送辞や答辞など、全てにおいて立派な式であったと感じます。卒業生の皆さん、ありがとう、そしてそれぞれのこれからの人生に向けて、本校で培った力をさらに伸ばして羽ばたいてください。皆さんのご健康とご活躍を祈念しています。



学校長式辞 (一部抜粋)

卒業生の皆さんは、様々な場面で素晴らしいリーダー性を発揮しました。

体育祭では、縦割り集団での応援合戦、ダンスなどをとても盛り上げ、躍動感のある見ている人々を元気にさせる演技を築き上げました。文化祭の合唱コンクールでは一番人数が少ないクラスにもかかわらず、「さすが最高学年」と思わせられる団結した感動の素晴らしい合唱「YELL」を響き渡らせました。

旅立つ卒業生の皆さん、どんな状況からでも、夢・目標を見つけ 困難な壁を乗り越えるレジリエンスをもち、大逆転できる生き方に学び、自己の生き方を追求していきましょう。今の自分をゼロとして、これからの自分をどのようにプラスにしていくかが大切です。

また、皆さんのこれからの人生に際し、健康第一で、まわりの人と協働して助け合い希望と感謝の心を持って、平和な世の中を築き、地域の方々と共に安心して過ごせる社会をつくる人になってください。



PTA会長祝辞 (一部抜粋)

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この3年間の中で、いろいろな出来事があったことでしょう。今朝、最後の制服の袖を通すときどんな気持ちでしたか。3年前に初めて制服を着たとき大きかった制服も今では小さく感じているのではないのでしょうか。体が大きくなったのと同じくらい心も大きく成長してきていると思います。

この大柿中学校での生活を通して、全員がかげがえのない思い出を共有できる大切な仲間になっています。当たり前のように学校に来て机を並べていた友達が、小さな偶然的積み重ねで知り合えたと思います。今日を限りに卒業し、これからそれぞれ別々の進路に進んで行かれるわけですが、是非ともこの大柿中学校で出会った友人を大切にしてください。13年前には東日本大震災がありました。ちょうど3月だったので、卒業式を目前にして卒業式ができなかった中学生がいます。それを考えるとこの大柿中学校の皆さんは、こうして元気に卒業できることがどれだけ尊いか、ありがたいことだと思います。普段、当たり前のようにあることが、如何に奇跡であるか、感謝する心を持ち続けてください。これから皆さんは壁にぶつかり、悩んだり苦しんだりすることがあるでしょう。そんな時は、保護者や先生、友達の一人一人の顔を思い浮かべてください。皆さんは、一人ではありません。一緒に悩み相談にのってくれる人が沢山いるということを忘れないでください。皆さんには無限の可能性が 있습니다。今日から自分の夢に向かって力強く進んでいってください。皆さんの健康と活躍を期待しています。



在校生代表送辞（一部抜粋）

私たちは、先輩方から多くのことを学ばせていただきました。特に印象に残っていることは、三年生の皆さんのどんなことでも前向きに楽しもうとする姿です。2学期にあった文化祭では、人数が一番少ないにも関わらず、3学年の中で最も力強く素晴らしい合唱を見せていただきました。それは、3年生一人一人が積極的に声を出し、良いものを創り上げようとした結果だと思えます。クラス一丸となり、最後まで全力で取り組まれている姿はとてまかっこよく、歌っている様子にクラスの深い絆を感じました。このような先輩たちの姿から、私たちは、お互いが尊重し合い、より良いものを作ろうと協力することの楽しさ、最後まで全力でやり通すことの大切さを学ばせていただきました。また、生徒会活動ではより良い学校をつくるために生徒会を中心に体育祭や文化祭の運営をしてくださいました。生徒会スローガンであった「My Way」のように、自分の道をしっかり持って行動される姿は、私たちの自信となり、私たちも自分らしく行動することができるようになりました。先輩方から学んだことは、かけがえのない財産であり、これからしっかり受け継いでいき、さらに良い大柿中学校を創っていきます。卒業生の皆さんのご健康とご活躍を心からお祈りし、送辞といたします。



卒業生代表答辞（一部抜粋）

一年生、「努力、全力、協力」という学級目標を掲げ、新しい学校生活をスタートさせました。入学してすぐの宿泊合宿で古鷹山に登り切ったときには、とても達成感を感じました。あのときみんなで見た江田島の海の色は決して忘れません。

二年生、修学旅行で九州に行きました。16人で過ごした3日間は、かけがえのない思い出になりました。あのとき作った湯飲みを見ていると、みんなの笑顔が浮かんできます。

三年生、合唱コンクールでは全力で協力し、最優秀賞という結果を残すことができました。はじめはやる気がなく、練習もうまくいきませんでした。しかし、開内先生が撮影してくださった自分たちの姿を客観的に見たときから、私たちの意識が変わっていきました。本番は、不安もありましたが、朝早くから練習し、直前に円陣を組んで心をついに一つにしたことで、自信をもって楽しく歌いこなすことができました。合唱で団結することの難しさや一生懸命やりきることの楽しさを知り、最高の思い出になりました。時には怒られ、時にはぶつかり、時には話し合い、笑い合い、泣き合い。3年間共に過ごした仲間との日々は忘れることのできない宝物です。

4月からこの16人で過ごすことがなくなると考えると、寂しい気持ちと切ない気持ちです。ですが、私たちは新しい道を歩んでいきます。この大柿中学校で学んだことを胸に、それぞれの場所で輝き続けます。これからも私たちの成長する姿を見守っててください。そして今まで学校生活を支えてくださった全ての方々に改めて感謝し、お礼申し上げます。最後になりましたが、母校大柿中学校がこれからもたくさんの伝統を残し、華やかな学校になることをお祈りし、答辞とさせていただきます。



